

平成29年度当初予算市長復活査定総括票

別紙1

部課名 市長公室 秘書広報課  
(単位:千円)

事業名	28年度現計予算額		29年度当初財務部長・財政課長内示額						29年度当初財務部長復活内示額						29年度当初予算市長復活要求額						市長復活査定額						頁
	総額	一般財源	総額	国支出金	府支出額	起債	その他	一般財源	総額	国支出金	府支出額	起債	その他	一般財源	総額	国支出金	府支出額	起債	その他	一般財源	総額	国支出金	府支出額	起債	その他	一般財源	
1 住民情報システム管理運営事業	0	0	18,719					18,719						0	18,734					18,734	0					0	1
2 行政情報化推進事業	0	0	0					0						0	21,424					21,424	0					0	2
3								0						0						0						0	
4								0						0						0						0	
5								0						0						0						0	
6								0						0						0						0	
7								0						0						0						0	
8								0						0						0						0	
9								0						0						0						0	
10								0						0						0						0	
計	0	0	18,719	0	0	0	0	18,719	0	0	0	0	0	0	40,158	0	0	0	0	40,158	0	0	0	0	0	0	

※行政経営計画査定欄には、「平成29年度行政経営計画に係る事務事業の取組方針(案)について」の政策的査定結果を記入して下さい。

# 平成29年度当初予算 市長復活査定書

別紙2

(目名) 一般管理費

(細目名) 住民情報系システム管理運営事業費 (事業名) 住民情報システム管理運営事業

(単位: 千円)

	総 額	財 源 内 訳					査 定 総 額	財 源 内 訳						
		国支出金	府支出金	起債	その他	一般財源		国支出金	府支出金	起債	その他	一般財源		
平成27年度決算額						0								
平成28年度当初予算額						0	0	0						0
平成28年度現計予算額						0								
平成29年度当初要求額	37,453	0	0			37,453								
平成29年度当初財務部長・財政課長内示額	18,719	0	0			18,719	債務負担行為	374,622千円(29年度～34年度)						
平成29年度財務部長復活内示額						0								
平成29年度復活要求額	18,734	0	0			18,734								

事 業 内 容	予 算 要 求 内 容
<p>(目的) 国の施策への迅速な対応と、セキュリティ確保による安定稼働を図り、住民サービスを向上させる。また更新時期を前倒しにすることにより税評価替え等に関する改修費の二重投資を避け、将来コストの軽減を図ります。</p> <p>(概要) 当市の住民情報システムは、平成10年より運用を開始その後、形式、ハードウェアの更改や機能の拡充を実施し様々な制度改正等に対応してきたが、システムの複雑化等により、効率的な事務処理や多様化する住民ニーズへの迅速な対応が困難になってきた。 住民情報システムの再構築を行い、他システムとの連携を向上させ、業務を効率化しコストの削減を図ります。</p> <p>(根拠法令)</p> <p><b>[復活理由]</b> 平成29年7月から実施される番号制度への継続した対応を行うとともに、当市の基幹系システムである住民情報システムの更新時期の前倒しにより二重投資を回避し標準機能として組み込まれているサブシステム等の活用により、業務効率の向上が見込まれ、職員の業務の迅速化、効率化、正確化を図り、多様化する住民ニーズへの迅速な対応を行うことができるため、復活要求するものであります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託料 住民情報システム導入委託料(3,998千円/3ヵ月) 住民情報システム保守点検委託料(4,841千円/3ヵ月)</li>   <li>・賃借料 住民情報システム利用料(7,064千円/3ヵ月) 住民情報システム機器リース料(2,831千円/3ヵ月)</li>   <li>・債務負担行為額(374,622千円/60ヵ月)</li> </ul>

部課名           市長公室 秘書広報課          

要求P           1           査定P           1

# 平成29年度当初予算 市長復活査定書

別紙2

(目名) 一般管理費

(細目名) 行政情報化推進事業費

(事業名) 行政情報化推進事業

(単位: 千円)

	総 額	財 源 内 訳					査 定 総 額	財 源 内 訳					
		国支出金	府支出金	起債	その他	一般財源		国支出金	府支出金	起債	その他	一般財源	
平成27年度決算額						0							
平成28年度当初予算額						0	0	0					0
平成28年度現計予算額						0							
平成29年度当初要求額	21,424	0	0			21,424							
平成29年度当初財務部長・財政課長内示額	0	0	0			0	債務負担行為	0千円( 年度～ 年度)					
平成29年度財務部長復活内示額						0							
平成29年度復活要求額	21,424	0	0			21,424							

事 業 内 容	予 算 要 求 内 容
<p>(目的) 新たなウイルス感染や不正な侵入を受ける可能性が常にある情報系パソコンのOSを最新のものに更新すると共に、故障時の対応・交換補償や返却時のデータ消去などパソコンライフサイクルマネジメントを検討し、システム担当者の作業負担を軽減、また職員の業務効率の向上を図ります。</p> <p>(概要) 当市の情報系端末は、買い取りにて“使えるまで使う”運用を継続してきた、これらは使えなくなったという判断基準が明確にならず、5年を経過したあたりから高い頻度で起こる故障や不具合に耐え使用する職員のストレスや故障対応の工数を考慮しても、ライフサイクルを検討し職員労働環境の向上を図るべきと考えます。</p> <p>(根拠法令)</p> <p><b>【復活理由】</b> 業務において、IT機器は無くてはならない存在となっています。当市の情報系パソコンは、Windows7端末が中心であり、サポートが終了となる2020年1月までに更新を行う必要があります。またLAN設備についても構築より14年が経過がしていることに加え、機構編成等によるLAN網の追加等によりネットワークに関する不具合も多発している状況です。パソコン・ライフサイクルにてパソコンのOSを常に最新のものとすると共に、当計画に合わせたネットワークの再構築を図り、大切な個人情報を漏洩させることのないようにするため、復活要求するものであります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託料 情報系端末保守料(1,750千円) 情報系ネットワーク機器保守料(1,143千円)</li> <li>・賃借料 情報系端末リース料(15,159千円) 情報系ネットワーク機器リース料(3,102千円)</li> </ul>